

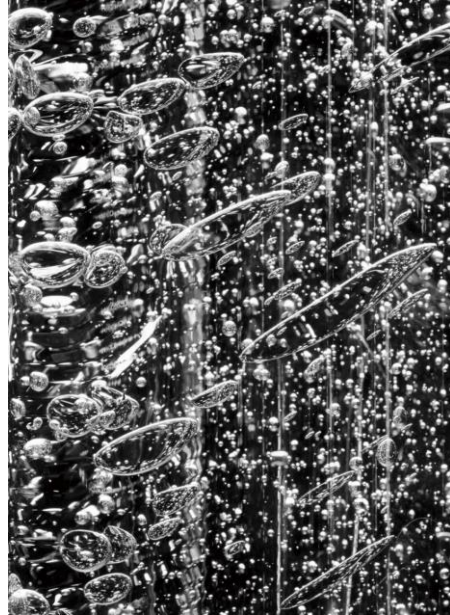
NEWS RELEASE

2017.5.16

「光」をテーマに世界的に活躍を続ける写真家の展覧会

田原桂一「Les Sens」

2017年6月9日(金) から開催



ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、「光」をテーマに、フランスをはじめ世界的に活躍を続ける写真家 田原桂一の展覧会「Les Sens」を2017年6月9日(金)から7月9日(日)まで開催いたします。

田原氏は木村伊兵衛写真賞、フランス芸術文化勲章シュヴァリエ、パリ市芸術大賞など数多くの賞を受賞しています。その表現方法は、写真にとどまらず、彫刻や多様なインスタレーションなど、様々な領域にわたります。

本展「Les Sens」では、2015年にフランス リヨンで発表され、話題となった“手”をモチーフにした写真作品「Les mains」シリーズを日本で初めて展示します。また、床一面に砂を敷き詰め、その上にレーザーを用いてプリズムの光を演出するなど、空間全体でお楽しみいただける会場構成となっています。

|| 展覧会概要 ||

展覧会名：田原桂一「Les Sens」

会 期：2017年6月9日(金) - 7月9日(日) [31日間] ※会期中無休

開館時間：11:00 - 20:00(入場は19:30まで)

入 場 料：無料

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル3階)

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ / 東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分

JR 有楽町駅 京橋口から徒歩5分

主 催：株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス

U R L：<http://www.po-holdings.co.jp/m-annex/>

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

|| 作家コメント ||

人の想いを写し 自然を映し ひかりを移す

風があり薫りたち 静寂に音が響き 肌がふるえる

温度のある優しさと鉱物の輝き

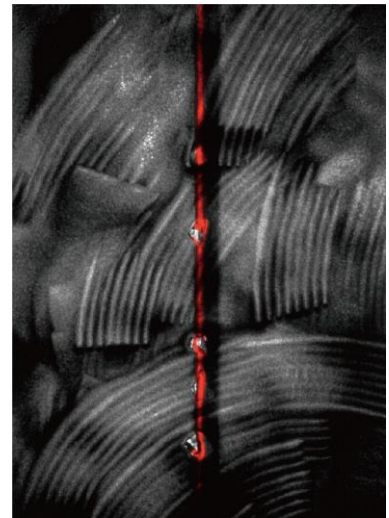
私は「私という感覚」のみによって存在しているのか？

理解出来ることや、出来ないことが
渾然と浮遊し不思議な平衡感覚の上に私個人が乗っかっている。

安定的な重力と不安定な触覚が覚醒するとき、
思考がある一定の規則からはみ出してしまうことが度々起こる。

表現しようとする意思を働かせたとき、過剰な想いと言葉が
「不明瞭な意味」を生み出そうとして私のなかを駆け巡る。

光りを握り取りたいという傲慢な欲望が私を支配する。



|| プロフィール ||

田原桂一 Tahara Keiichi

1951年生まれ

1971年に渡仏、そこで出会った日本の柔らかい光とは違う、ヨーロッパの刺すような鋭い光に衝撃を受け、写真家として活動を始める。以降 2006年までパリを拠点とし、光をテーマに写真、彫刻、インスタレーション、建築と幅広く活躍。77年に「窓」シリーズでアルル国際写真フェスティバル大賞を受賞、一躍世界的な脚光を浴び、日本、ヨーロッパにて数多くの展覧会を開く。以後、木村伊兵衛賞、ニエプス賞、フランス芸術文化勲章シュヴァリエ、パリ市芸術大賞など受賞を重ねてきた。また、カルティエ、ドン・ペリニオンなど世界的ブランドのブランディングコンサルタントとして数多くの広告、企画を手掛ける。

現在、プラハ国立美術館にて、舞踊家 田中泯を被写体としたシリーズ「Photosynthesis1978-1980」の世界初となる大規模な田原桂一展が3月17日から8月27日まで長期にわたり開催中。

また、2017年4月よりテレビ朝日にて毎週水曜日放送の株式会社ポーラ提供番組「白の美術館」では、出演する表現者のポートレートの撮影を担当。

<http://www.keiichi-tahara.com>